

# 急増 間 調査

## 頼んでみる?



マンションライフ  
も隣人次第でツラ  
イものに!?

春。入学や入社を控え、引っ越しシーザンが間もなく到来する。新天地での暮らしを心待ちにする人がいる一方で、さまざま不安から、引っ越し先の調査を探偵に依頼する人も増えているという。現役の探偵に聞けば、あれよと驚きの実態も明るみに出で——。

何かと浮足立つ季節ではあるが、最近では五月病ならぬ四月病も出現し、憂うつな日々を過ごす人も少なくない。引っ越しも一つの引き金のようなのだ。

「引っ越し先の部屋に盗聴器がないか、調べてほしい」というお客様が、最近増えています

そう話すのは、神奈川県内で探偵会社を営む坂井利行さんだ。

坂井さんが「お金返してもらっていいない」などと、それらしい理由をつけて、相手の引っ越し先を割り出そ

うとすることもあるというから、心配したらきりがない。逆に「ストーカーに分

年間を通じ、断トツに引っ越しの多い春。総務省の統計「平成17年都道府県内移動者数」によれば、3月に転入届を出した人は88万6948人、「都道府県間移動者数」では96万598人に上り、いずれも年間の約3割ほどがこの時期に集中する。

何かと浮足立つ季節ではあるが、最近では五月病ならぬ四月病も出現し、憂うつな日々を過ごす人も少なくない。引っ越しも一つの引き金のようなのだ。

盗聴器といえば、2月、日本航空インターナショナルのパイロットが、交際相手の客室乗務員の女性宅に盗聴器を仕掛けたとして、電波法違反容疑で逮捕されている。もし、この女性が何も知らぬまま引っ越ししてしまえば、新たな入居者は盗聴器とともに生活することになる——。全く人ごとではない。

坂井さんによれば、ストーカーが「お金返してもらっていいない」などと、それらしい理由をつけて、相手の引っ越し先を割り出そ

うとすることもあるというから、心配したらきりがない。逆に「ストーカーに分

からないような引っ越し方

に随行し、その場で器具の有無を確認する。盗聴器発見器は、安いものなら100円台でも市販され、自分で調べることもできるが、携帯電話から発せられる電波などにも反応しがちで、素人にはなかなか判断が難しいそうだ。

盗聴器といえど、近所に聞

故の有無を調べ、近所に聞

き込みもします

それにしても、仰天なのはこんなケースである。何

とマンション購入前に、マ

ンションの入居者全員の写

真がほしいという依頼があ

つたというではないか。請

け負ったのは、首都圏のあ

る探偵だ。

「部屋を購入しようという

マンションに、どんな人が

住んでいるのか、怪しい人

はいないか調べてほしいと

いうことでした。2人組で

セールスマンを装い、一軒

一軒を回りました。人が出

てきたり、その都度、気付

かれないように撮影。結局、

50人以上の人々に会い、対応



# 探偵会社に 引っ越し先

の様子や雰囲気をチェックしました

さらに、その写真を依頼者に見せると、「坊主頭にジャージー姿」の男性など3人を「不審そうだ」と指摘。その3人については、別途、自宅から会社までの行き帰りを尾行し、素行調査も実施したという。

結局、問題のある事実はなかつたが、依頼者がマンションを購入したかどうかは分からぬ。ちなみに調査期間は1週間ほどで、費用は約100万円。マンションの頭金に回したくなる金額だが、背に腹は代えられないということか。

さらに、意外に多いのが、引っ越し後のことだという。新天地でトラブルを抱えた人からの依頼が、全体の1割近くを占めるというのである。

前出の探偵が、こんな事例を挙げる。

「新築マンションに入居した銀行員一家が、引っ越し早々、玄関前にゴミや犬

あなたも調べられている

のふん、また使用後の生理用品が毎日のように捨てられて困っていました。そこで、ドアのぞき窓に監視カメラを設置したんです。

小さな映像ではありました  
が、犯人は目の前の一軒家に住む医師と即座に判明しました。近隣の大地主でもあつたため、新しいマンションが気に食わなかつたの

が、犯人は目の前の一軒家に住む医師と即座に判明しました。近隣の大地主でもあつたため、新しいマンションが気に食わなかつたの

## いじめ予防で学校の調査依頼も

しかし、である。

引っ越し後のトラブルは、そうした具体的な話ばかりではないのだ。中には「幽霊が出るから」「誰かが家にいるから」監視してほしいという依頼もあるという。

神奈川県内で探偵会社を営む板橋あきらさんが、こんな話をする。

「引っ越ししたばかりの独り暮らしのおばあさんが『うちに幽霊が出る』と言つてきかないんです。そこで自

れました」

また、依頼の中で目立つのが「引っ越しした土地で、近所の人に嫌われているのではないか」というもの。集合住宅の専業主婦に多い

かもしません

当初は、「相手の家に乗り込む」と息巻いていた依頼者も、最後には、「マンションを買つたばかりでいざこざを起こすのも……」とあきらめたとか。

その後、防犯用の監視カメラとセンサーライトを付けたところ、被害はぴつたりやんだという。

『あの奥さんは私を嫌つているから尾行してほしい』と言われ、交友範囲を調べることもあります。また、近所の住民を訪問して話を聞いたり電話をしたりして、依頼者についてどう思うか、それとなく聞き回ることもあります。そこで依頼者のと、確かに虫のような白い光が映っている。おばあさんは『これがそうなのよ』と言ひ張りますが、お化けとは思えない。『怖いから隣室に寝てほしい』と言われて寝たこともありました

批判があつた場合も、なかつた場合も、依頼者には悪口を言うか言わないかを批判しているのです』

(坂井さん)

かつたと報告しても、疑惑が、最後には『安心して眠れるようになった』と喜ばれました

「結局、近所の人を続けて10人ほど調べたこともありますよ」(坂井さん)

「あいさつしても無視される」「ゴミ出しの時に自分の悪口を言わされている気がする」「携帯電話の番号を知らないうちに変えられた」などと訴えるのだ。

「あの奥さんは私を嫌つているから尾行してほしい」と言われ、交友範囲を調べることもあります。また、近所の住民を訪問して話を聞いたり電話をしたりして、依頼者についてどう思うか、それとなく聞き回ることもあります。そこで依頼者のと、確かに虫のような白い光が映っている。おばあさんは『これがそうなのよ』と言ひ張りますが、お化けとは思えない。『怖いから隣室に寝てほしい』と言われて寝たこともありました

批判があつた場合も、なかつた場合も、依頼者には悪口を言うか言わないかを批判しているのです』

(坂井さん)

かつたと報告しても、疑惑が、最後には『安心して眠れるようになった』と喜ばれました

「結局、近所の人を続けて10人ほど調べたこともありますよ」(坂井さん)

「あいさつしても無視される」「ゴミ出しの時に自分の悪口を言わされている気がする」「携帯電話の番号を知らないうちに変えられた」などと訴えるのだ。

とではない。昨今、いじめがクローズアップされる学校や職場にも広がっているのである。

『娘の教科書にバカと書いてあつたので』『転校後、息子の様子がおかしいので』と、母親から子どものいじめについての調査を依頼されることは珍しくなくなりました』(坂井さん)

坂井さんも以前は学校の先生に直接、話を聞くことが多かつたというが、今はなかなか接触が難しい。そのため、子どものランドセルにワイヤレスマイクを忍

ばせて、まず、本当にいじめられているのかどうか、証拠をつかむことから始めることだ。

ただ、体をたたかれる音が録音されていても、ふざけた小突かれた程度なのか、本当に暴力を振るわれたのか、判然としない場合もある。それに最近のいじめは陰湿で、音に残るようなものとは限らないのだ。

## 受験生の母親は「なんでもする」

「学校説明会に行つてもいいことしか言われない。それで、『実態はどうなのか、調べてほしい』というものでした』(板橋さん)

板橋さんは学校近辺で評判を聞き込み、先生の経歴についても名簿などで調査を進めた。数人の男性教諭については素行調査も実施したという。そのうち、一人の男性教諭が、学校帰りに妻以外の女性と食事をしているところを目撃。報告

「変なメールが来るとか、インターネットの掲示板に悪口を書き込まれるといつもので。ただ、誰が書き込んだかまでは、こちらでも調べませんね』(坂井さん)

そのせいか、こうした危険を未然に防ごうと、入学前に転居先の近くの学校の調査を依頼する親も出てきているという。

「以前、引っ越し先近くの私立校の調査のほかに、『試験内容を事前に盗めないか』『裏口入学の方法を知らないか』という相談まで持ちかけられたことがあります。さすがに、そこまではご期待にはそえませんでしたがね……」

とんでもない依頼が舞い込み、探偵社は「よろず相談所」と化していくかのようである。

また、別の探偵は、こんな話をする。

「聞き込みをする対象は、在校生の親ごさんや先生、学校近辺に住んでいる人などです。ある学校を調査した時のことですが、『穏やか

なお子さんが多く、争いはないようだ』と報告したところ、とても喜んでもらえました」

とにかく受験生の母親は必死で、進学のためなら転居だけでなく、なんでもするというような状況のようだ。ある探偵業者は苦笑交じりに、こう話す。

「以前、引っ越し先近くの私立校の調査のほかに、『試験内容を事前に盗めないか』『裏口入学の方法を知らないか』という相談まで持ちかけられたことがあります。さすがに、そこまではご期待にはそえませんでしたがね……」

逆に言えば、施行直前の今が、悪徳業者の最後の“かけ入れ時”なのだ。

「派手に広告を出していたり、女性探偵をうたつている探偵社には気をつけるべきです」

とは、この業界の関係者に共通する意見だ。

探偵に頼るも頼らぬも自分

の判断ではあるが、現代ニッポンは、そこまでしまとまことに調査をしない会社もあり、依頼時には注意が必要なのは言うまでもない

だらう。

日本一のたけのこ 料理  
京 都  
**錦水亭**  
阪急京都線長岡天神(特急停車)  
075(951)5151代  
<http://www.kinsuitei.co.jp/>



隣は何をする人ぞ…